



皇帝特權  
SEX tella  
R-18





奏者よ



今日はもう休んではどうか？

レガリアを持つ者としての責任を感じるのは

だがあまり無理をするものでもないぞ？

セイバー？







早く  
マイルームで  
休みたいと

奏者の  
背中が  
語っておる

いやいや  
余には  
わかるぞ

眠いわけでも  
ないし

いやいや

そうは  
言うけど  
まだ暗く  
なつた  
ばかりだ



いやいやいや

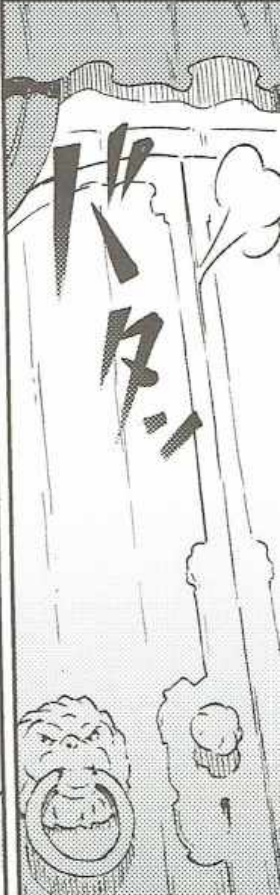
セイバー？

いやいや

だから――



セイバー……







もしかして  
何か  
企んでる……？

ぬなっ!?

たっ  
企んでなど  
いないぞ!?



別に

昨夜の雪辱を  
晴らそう  
などとは

これっぽっちも  
思っ  
て  
いないからなっ!!

昨夜?



とぼけるのか  
奏者よっ!?



昨日……

何かセイバーを  
負かすような  
事なんてした  
らうか





忘れたとは  
言わせぬぞ

あ

情事の折の事だ

その……

あれは昨晚  
余との……

あはれ

あはれ



びん

びん

あ

は



奏者の放つだ  
刃のような一言

セイバーって――

は



キ

ユ

天にも昇るかの  
ような夢心地……





押し倒して  
くる割に

すぐ可愛い声で  
鳴き声を  
上げちやうよね

言った……  
だろうか……

言ったかも  
しれない





奏者の方が  
情熱的に  
過ぎるだけで  
あるう……

ちよーつとばかり



事実な  
ものかっ!!

じっ

あせ

あせ

でも  
それは事実  
だし

毎晩  
受け攻め反転に  
付き合わされる  
身にもなつて  
欲しい



しかし!!

言われっぱなしで  
なるものかと

ん

ばっ

ん



今日は奏者を  
あーんあん  
鳴かせる

秘策を  
考えて  
きたのだっ♪

あーんあん  
あーんあん  
あーんあん



余は  
ベッドの中でも  
最強であると

その身に  
思い知らせて  
くれようって

なんだか  
ろくでもない  
策だというの  
はわかる……

いっ……

だが  
同じベッドで  
寝る以上――

断つたら  
とても夢見が  
悪いこと  
になりそうだ……

ここは 諦めて  
受けて立って  
おこう

ほう

その目

覚悟は  
よいと見た

それどころ  
余の奏者





では行くぞ!!

えっ



セイバー!?

何



天幕よ

落ちよう

を!?





こ  
!?

これはっ



♡♡♡  
!?!?

おのり——!  
!?



キ

ニ

ホ





なんとという  
王権濫用……

確かに  
いつも通りとは  
いかなそうだ……



ふふ……  
レガリアの王権を  
もってすれば

これくらい  
なんてことはない

便利な  
ものよな!



せいパー?

けど



余は  
花嫁志望ゆえな

挿れるの  
男役は当然  
そなただ

私を  
鳴かせる  
のなら

生やす(?)のは  
せいパーの方では  
ないだろうか





なに

余はどちらも  
相手した  
ことがある……

テクニクは  
完璧



そなたは  
初体験の男根の  
快樂で

可愛く  
鳴いてしまっ  
たぞ？

せーばあー

もう

ゆるいん

キョ

許しても  
言つても

今夜ばかりは  
止めてやらぬ  
からなっ♪



そうじゃあ

ちよろい

ちよろい!?

待つのだ  
奏者よ……っ

真命は  
チヨロ・クラウディウスで  
合ってただろうか……？

この皇帝

あまりにも  
ちよろ過ぎる……

キョ

んがっ

少々  
獸的すぎる……っ



当初の目的は  
果たせないような気が  
するけど……



いや  
優しくしなきゃ  
ならない時点で



言ったではないかあ

それに

最初は優しく  
ムードを出せと

それは  
それとして

冤罪だ

ちゃんと

最初は  
優しくした



準備は  
よいぞ……

奏者、



う

うん……っ

したけども



あ  
あ  
あ  
ん



ちゅ





う

あ

これ…

味わったことのない  
感覚に陥るのは

そなただけが  
だと言ったが

違ったな……



こんなになんか  
幸せな気持ちに  
なったのは

余も  
初めてだ……

奏者よ……



このサーヴァント

堪らなく  
させる表情で

可愛いことを  
言ってくる  
ものだから

愛しておるぞ

自制心が一瞬で  
融解させられた  
しまったのだ——!!





それに

セイバの  
言った通り

男根  
これ

私には  
敏感すぎて



もう

はぁ  
あ

蕩けちゃーっ



奏者っ

余も……

一緒にーっ







ええい  
うるさいっ

明日は余が  
生やすからなっ！

次こそ  
奏者を鳴かして  
みせるからなっ！！

だって

セイバーは  
いつも言ってる  
じゃないか――



そんな  
ムキにならなくても

私は――

このまきの  
関係でいいと  
思う



自分<sup>は</sup>至高<sup>の</sup>名器<sup>で</sup>  
声<sup>を</sup>出す<sup>者</sup>で

私はその<sup>奏者</sup>  
鳴<sup>か</sup>せる<sup>者</sup>なのだ<sup>と</sup>



それとこれとは  
話がちが—

ああっ

もうっ

奏者は—っ

そっ





◇あとかき◇

はじめましてこんにちは、彩社長です。

ザビネ口本、いかがだったでしょうか。  
見事に山もオチも意味もない、全力のやおい本になりましたが…。

コミ1に申し込んだ当時は、僕もまさか、まさかEXTELLAで本を出す事になってるなんて  
思いもしませんでした……。  
これもバレンタインに戯れに回したガチャから玉藻が出てしまったのがいけない。  
FGOやって、玉藻全然活躍しなかったからEXTELLAやって、馴れ初めが気になったからEXTRAやって、  
CCCやって、気付いたら完全に岸波沼に嵌ってしまいました……。  
これが霊子虚構陥穽……恐ろしい……。

玉藻も好き、というかEXTRAシリーズに出てくるキャラはみんな愛しくてみんな好きなので、  
今度、何か別の本も出してみたいかなと思ってはいます。  
出たとして、また今回みたいなやおい本になりそうですけど。

それでは、今回はこの本を手にとって頂き、本当にありがとうございます。  
また機会があれば、どこかでお会いしましょう。

彩社長



———奥付———

発行日:2017/4/30

発行:極彩色

代表:彩社長

(shishijinodentou@hotmail.com)

印刷:松本コロタイプ光芸社様

※本書の無断転載、複製、webアップロードを禁じます。



